

金部理事代理を命ぜられる。
同月二十三日 講師比田井小琴は依願解嘱となる。

③ 卒業式

昭和十五年三月二十五日、第四十九回卒業証書授与式が行われ、同日より三日間、校内で卒業制作品陳列会が開かれた。左記はその記録文書の抜粋である。

第四十九回卒業証書授與式次第 (三月二十五日 午前十時)

- 一、新卒業生入場著席 (第講堂北口ヨリ出入 第一號 鐘)
- 二、職員、參列舊卒業生著席 (第講堂東口ヨリ出入 第二號 鐘)
- 三、來賓著席 (第講堂東口ヨリ出入 第三號 鐘)
- 四、宮城遙拜、靖國神社遙拜、出征將士ノ武運長久ヲ禱ル
- 五、校歌 (一 同 起 立)
- 六、學校長式辭
- 七、卒業證書及賞品授與 (卒業生前後敬禮)
- 八、學校長告辭 (卒業生前後敬禮)
- 九、文部大臣祝辭 (卒業生前後敬禮)
- 十、卒業生總代答辭
- 十一、式終了挨拶
- 十二、來賓、職員、舊卒業生、新卒業生順次退場

附

- 一、退場後來賓、舊卒業生ハ休憩所ニテ休憩ノ事
- 二、退場後職員、新卒業生ハ直ニ寫眞場へ集合ノ事

三、式ノ前後ニ於テ卒業生製作品隨意觀覽
答辭

本日茲ニ第四十九回卒業生ニ對シ證書授與ノ式典ヲ舉行セラル、ニ方リ朝野貴顯ノ御來臨ヲ辱フシ特ニ文部大臣閣下ノ御祝詞竝校長閣下ノ御訓辭ヲ拜受スルノ榮ヲ得タルコトハ生等ノ洵ニ欣幸トスル所ナリ 回顧スレバ入學以來早クモ五年ノ星霜ヲ經タリ 其ノ間御懇篤ナル御指導ト御薰陶ニ依リ各々其ノ志ス所ノ課程ヲ修了スルコトヲ得タリ 今母校ヲ去ルニ臨ミ欣慕ト感謝ノ情轉タ切ナルモノアリ 惟フニ生等業ヲ卒ヘント云ヘトモ僅ニ藝術ノ片鱗ヲ窺ヒ得タルニ過キス 苟モ此ノ小成ニ安ンスヘカラサルハ勿論ノコト將來各々其ノ修得シタル所ニ隨ヒ益々人格ノ修養ト技術ノ練磨ニ努メ以テ我邦美術ノ發展ヲ致ササルヘカラス 時恰モ光輝アル紀元二千六百年ニ際會シ東亞新秩序ノ建設ハ着々其ノ實ヲ舉ケ日本精神ヲ樞軸トスル新文化ノ創造ハ今ヤ我等青年美術學徒ニ課セラレタル光輝アル使命ニシテ其ノ責務ノ重且大ナルヲ想ヘハ須ク我カ尊嚴ナル國體觀念ニ依遵シ以テ興亞聖業ノ完遂ヲ期セシカ爲勇往邁進大ヒニ美術報國ノ誠ヲ致ササルベカラス 是併乍御鴻恩ノ萬分ノ一ニ酬ユル所以ナリト信ス

不肖卒業生一同ニ代リ右聊カ所懷ヲ述ヘテ感謝ノ微意ヲ表ス。

昭和十五年三月廿五日

東京美術學校第四十九回卒業生

總代 山崎元士

答辭

本日玆ニ第四十九回卒業證書授與式ヲ舉行セラル、ニ方リ朝野諸賢ノ御臨席ヲ辱ウシ特ニ文部大臣閣下竝ニ學校長閣下ヨリ御懇篤ナル御訓辭ヲ賜ハル生等ノ光榮何者カ之ニ如カンヤ 願レハ生等笈ヲ負ヒテ本校ニ入學シテヨリ玆ニ三星霜其ノ間輝カシキ傳統ノ精神ト御慈愛溢ル、諸先生ノ御薫陶トニ依リ美術教育者タルノ基礎ヲ築クコト得タルハ生等ノ最モ喜トスル所ナリ 時恰モ光輝アル紀元二千六百年ヲ迎ヘ我カ大日本帝國ハ國ヲ擧ケテ東亞新秩序建設ニ邁進セントス 此ノ非常時ニ方リ美術教育者ノ擔フヘキ任務是ニ重且大ナルモノアリト言フヘシ 生等素ヨリ淺學非才ナリト雖モ深ク現下ノ時局ヲ認識シ大臣閣下竝ニ學校長閣下ノ御訓辭ヲ體シ諸先生カ平素ノ御高教ニ從ヒ在學中ニ築キ得タル基礎ノ上ニ益々研鑽ヲ累ネ至誠事ニ方リ以テ負荷ノ大任ヲ全ウシ御高恩ノ萬分ノ一ニ酬ヒ奉ラントス 冀ハクハ末永ク御提撕ノ惠ヲ垂レ給ハントヲ 今ヤ故郷ニハ老イタル父母ノ喜ヲ共ニシテ生等ヲ待テルアリ 之ヲ思ヘハ聊カ欣喜ノ念禁シ得サルモノアリト雖モ恩愛限無キ諸先生ト別レ懷シキ上野ノ杜ヲ去ルニ臨ミ感極マリテ言フトコロヲ知ラス 玆ニ圖書師範科第三十一回卒業生一同ニ代リ聊カ蕪辭ヲ列ネテ答辭トナス

昭和十五年三月二十五日

圖書師範科第三十一回卒業生總代

大道 武男

卒業生科別人員

日本畫科……………一六……………○……………○……………一六

科名 本科 選科 特別學生 計

油畫科……………三一……………○……………○……………三一

彫刻科
塑造部……………一二……………○……………○……………一二

木彫部……………七……………○……………○……………七

圖案部……………一四……………○……………○……………一四

彫金部……………四……………○……………○……………四

鍛金部……………三……………○……………○……………三

鑄金部……………六……………○……………○……………六

漆工部……………六……………○……………○……………六

建築科……………六……………○……………○……………六

圖書師範科……………一一……………○……………○……………一一

合 計……………一一六……………○……………○……………一一六

卒業生姓名卒業製作目錄(席次いろは順)

日本畫科

收獲……………本科 石崎 明

憩ひ……………同 杜多 清史

老松……………同 戶田 三顯

歸路……………同 太田 正弘

秋日……………同 大竹 保之助

季節の客……………同 金子 孝信

濱の娘……………同 高村 正之

海見ゆる丘……………同 村田 巳谷

室の内……………同 村田 信一

奉祝の歌……………同 福田 鑒治

若い立女
若き立女

早春
立像、白光(レリーフ)

木彫部

兎
レスリング

仰望
満洲の印象

粧ひ
早蕨

春
工藝科

圖案部

布帛陳列所壁面裝飾

花のある構成
商店外装と宣傳要素

装本圖案
基本的要素的再組織

圖案 日本頌榮
種々相
モザイク壁面裝飾

日本文化宣傳雜誌表紙
工藝圖案へのコンポジション

子供のための文化運動の一提案
コドモ文化移動劇場

機械美研究
モチーフ研究(レントゲン線による)

工場休憩室壁面畫
紡績會社サービス、ステイション
設計圖案

彫金部

花盛器(球技)
衝立(熱河ノ印象)

額面(魚群)
花瓶
鍛金部

鐵製蝸蚪、一輪差、黃銅器
銀製花瓶
銀製栗鼠置物

鑄金部

二曲屏風(Y合金) 盛器(青銅)

花瓶(青銅)
衝立(Y合金) 花瓶(青銅)
フロアスタンド(Y合金)

壁面裝飾(Y合金) 同(青銅)
皿(Y合金) 盛器(青銅)
照明器具(Y合金)

漆工部

蔦繪文庫(早春)
文机

小林重太郎

坂本貞雄

松風榮一

樋口益次郎

浅野利朗

寺島祥五郎

森涓三

鈴木幸平

石川義夫

細溝芳夫

天野敏臣

原田昌平

戸谷純之助

書棚(蒲公英ノ圖)

手筈

屏風(鷹)

乾漆文庫(華文)

建築科

樞原神宮外苑整備計劃案

國民厚生施設計劃

アーチストクラブ

叡智の都市

住居計劃に於ける三つの場合

中央演劇館

習作(油畫)

同

同

煎茶(日本畫)

少女(同)

習作(油畫)

同

同

同

同

同

其他 圖畫、手工成績品等

同 徳村正治

同 大原敬介

同 島田正男

同 杉下繁

本科 高田秀三

同 村上榮

同 山崎元士

同 牧野清

同 佐倉大有

同 水野茂松

師範科(師範科ニ於テハ卒業製作ヲ行ハズ)

同 稻石永吉

同 遠山正治

同 徳本立憲

同 大橋太郎

同 川合清

同 神崎正樹

同 大道武男

同 早出守雄

同 古谷好衛

同 小林通人

同 小林道彦

④ 昭和十五年度入学者

四月一日入学

日本画科予科

井崎昭治 大阪

馬場孟臣 長崎

戸川喜久良 新潟

大竹武雄 群馬

大山忠作 福島

小栗潮 佐賀

渡辺定夫 岐阜

渡辺洋 静岡

川上恒一 香川

加倉井和夫 茨城

武田照淳 福井

竹山博二 東京

内藤秀夫 東京

縄野秀正 東京

中村光哉 東京

桑原喜八郎 静岡

桑原清明 広島

山口誠 佐賀

藤沢友一 北海道

杉原信彦 山口

芳賀準録 山形

本間勇夫 新潟

李達 周朝 黄海道

廖徳 政 合台 中湾

沼野寛 政 東京

大林春雄 北海道

置塩恵兵庫

沖進 岩手

川口俊夫 岩手

吉原敏郎 山口

高橋秀太郎 東京

高井寛二 岡山

塚原栄一 東京

村木一丸 兵庫

野田健郎 熊本

黒木進 宮崎

草野睿三 東京

八幡健二 大阪

山田尚政 愛知

四月十三日入学

矢島貞男 長野

以下四月一日入学

松本富二 香川